

# 「安心」と「成長」を両輪に、 魅力と活力ある東京を支えます。



東京地下鉄株式会社  
代表取締役社長

山村明義

## 首都圏鉄道ネットワークの中核を担う、 信頼される企業へ

平素より東京メトロの事業活動にご理解を賜りまして、ありがとうございます。

東京メトロは、東京都区部を中心に9路線195.1kmの地下鉄を運営し、うち7路線で他社と相互直通運転を実施する、首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う企業です。

1日724万人のお客様にご利用いただく公共交通機関として、輸送の安全性の向上に何よりも優先して取り組むとともに、お客様の視点に立ったサービスの充実に日々努めております。また、お客様の日常をサポートする関連事業にも積極的に取り組んでおります。

そして、地域社会との密接なコミュニケーションや、地球環境保全への取組、コンプライアンス経営に努めることにより、社会からも高く評価され、信頼される企業を目指しております。

## 世界トップレベルの安心を全てのお客様に

2017年度は、中期経営計画「東京メトロプラン2018」の中間年度に当たり、引き続き2つのキーワード「安心の提供」と「成長への挑戦」を柱として各種施策に精力的に取り組んでまいります。

「安心の提供」としては、「安心=安全+サービス」の考えのもと、「世界トップレベルの安心」を世界中から集う全てのお客様に提供する地下鉄を目指し、ハード・ソフト両面での各種施策をこれまで以上に加速してまいります。

特に、昨年度発生した半蔵門線九段下駅におけるベビーカー引き摺り事故や銀座線青山一丁目駅における盲導犬をお連れのお客様の転落事故を踏まえた駅ホームの安全性向上策として、全ての路線へのホームドア早期設置に向けた取組、お客様へのお声かけの実施など「見守る目」の強化に引き続き努めてまいります。また、自然災害対策についても、お客様の安全確保を最優先に、引き続き震災対策、大規模浸水対策等を進めるほか、災害発生時の被害の拡大防止や早期運行再開に向けた施策を推進し、首都東京の都市機能の維持・向上に努めてまいります。

「成長への挑戦」としては、「安心の提供」を大前提とした上で、新たな価値を生み出す取組の全てを「成長」と位置づけ、私どもがこれまで築いてきたあらゆる経営資源を最大限に活用し、引き続き駅を拠点に周辺地域の活性化や東京のまちづくりへ

の貢献、人の動きや集まりの創出に取り組んでまいります。

あわせて、東洋初の地下鉄事業者としての誇りと自信を持って、新技術の開発・導入や海外展開に挑み、世界の地下鉄のトップランナーたる地位を築いてまいります。

加えて、これらの実現を確かなものとするため、コスト削減や生産性の向上を通じた効率的な事業運営、実践的な訓練を通じた人材育成などにより、経営基盤の強化を図ってまいります。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルパートナー（旅客鉄道輸送サービス）として、開催都市の重要な交通インフラに寄せられる期待に応えるべく、「東京が一番かがやく夏に、私たちがご案内します。」というキャッチコピーのもと、円滑な輸送サービスを提供し、地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただき、日本国内はもとより海外からのお客様にも、東京を存分に楽しんでいただけるよう東京2020大会の成功に貢献してまいります。

## 社会・地球環境に配慮した事業展開により、 魅力と活力ある東京の実現へ貢献

ここにお届けする報告書は、社会・環境への貢献をはじめとする東京メトロの様々な活動をご紹介します。

中長期的な人口減少、自然災害リスク等の課題を認識しつつ、グループ理念「東京を走らせる力」の実現を目指し、持続的な企業価値向上の取組を着実に進めてまいります。

経営課題の1つである地球環境保全については、2016年11月に発効したパリ協定を意識しつつ、バリアフリー化やホームドア設置促進などによる今後のエネルギー使用の増加に対し、積極的な省エネルギー施策の実施によりCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。具体的には、長期環境戦略「みんなでECO.」に基づき、環境配慮型車両13000系や駅補助電源装置の導入など、環境負荷の低減につながる様々な施策を積極的に進めます。また、新たに制定した調達方針及び調達ガイドラインに基づき、優良な企業市民として社会面・環境面に配慮した責任ある調達を目指してまいります。

これらの取組を通じて魅力と活力ある東京の実現に貢献してまいります。

以上のような施策について、東京メトロの社員一人ひとりが一丸となり、全力で取り組むよう努めてまいります。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。